

# 1月の園だより

令和5年1月10日  
杉並区立西荻北子供園  
園長 石床 美穂子

## 共育てを大切に

園長 石床 美穂子

新年あけましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

今年も天候に恵まれ、穏やかな幕開けとなりました。今年は、十二支の四番目「卯年」です。「卯(うさぎ)」は、穏やかで温厚な性質であることから、「家内安全」。また、その跳躍する姿から「飛躍」、「向上」を象徴するものとして親しまれてきました。他にも「植物の生長」という意味もあり、新しいことに最適な年と言われていると思います。今年も子どもたちの成長が楽しみみです。

今日から全園児が揃い、3学期が始まりました。ぞう組は、修了式まで保育日数があと49日、くま組・うさぎ組は終業式まで保育日数があと51日です。3学期は、どの学年も充実期です。集大成のこの時期に、豊かな体験をたくさんできるようにしていきます。

西荻北子供園では、家庭と子供園が信頼関係を深め、一人ひとりの子どもや保護者に寄り添った子供園でありたいと考えています。お子さんの成長を保護者の皆様と共に喜び、様々なことを共有し、話し合いながら子どもたちの成長を支える“共育て”を大切にしています。

『子どもの世界では、園と家庭が全く切れてはいない、つながっているのです。園での楽しい体験が家庭で語られ、家庭で嬉しい体験が園で語られる。そうして、子どもが園でも家庭でも私は大切にされていると感じるときに安定していきます。』と共育ての大切さを教育学者の汐見稔幸先生は仰っています。

子供園では、個人面談でお子さんの育ちを共有したり、保育参観で園でのお子さんの様子から園の教育・保育を通してどのようなことを学んでいるかを理解していただいたりしています。また、園だよりや学年だより等を通して、日々の生活や遊びの中で育っているもの、行事に向けての経験で育っていること等もお伝えしています。また、登降園時の少しの時間でも、お子さんのことをお伝えしたり、伺ったりということを心掛けています。けれども、保護者の方が、子育てに悩んでいるときや困っているときに、タイムリーに話を聞くことについては、課題があると感じています。顔を見て、言葉を聞いて、受け止めて、互いの思いや考えを言葉で伝えて・・・そのような関係性ができるようにしていきたいと考えています。保護者の皆様からも気軽に、園の先生たちにお声がけいただければと思います。もちろん、園長にもお声がけください。いつでも、どのようなことでも・・・対話し、一緒に考えて、子どもたちの成長を支えていきましょう。

子どもたちにとって、3学期は大きくなっていく自分を感じる時期でもあります。一日一日を大切に、子どもたちにとって豊かな日々となるように、努めてまいります。どうぞ、よろしくお願いいたします。

## 子どもたちの様子と今月のねらい

### 3 歳児 うさぎ組

2学期は、周りの幼児と同じ場において関わろうとしたり、同じようなものを身につけたり、動いたりすることが楽しくなりました。今日から3学期が始まりました。1月は寒さに負けず園庭で「むっくりくまさん」等で体を動かしたりして遊んだり、コア・風あげ等のお正月遊びを楽しんだりしたいと思います。表現遊びでは、絵本やお話しのイメージを楽しみながら一人ひとりがのびのびと体を動かす楽しさを感じられるようにします。また、身の回りのことが自分でできる嬉しさを感じられるように、保育者も支えていきます。

#### <今月のねらい>

○保育者や周りの幼児と、自分のやりたい遊びやお正月遊びを楽しむ。

○絵本やお話しのイメージを楽しみ、自分なりに動いたり表現したりする。

○冬の生活の仕方がわかり、身の回りのことを自分でしようとする。

#### <家庭との連携>

様々な感染症が流行する時期になります。引き続き石鹸を使って丁寧に手洗いをすることや鼻水が出たらティッシュでかむことを知らせていきます。ご家庭でも手洗い、うがいや丁寧に行えているかを確認してみましょう。鼻水が出た時は拭くだけでなくかむことやかみ方を知らせ、きれいになった時に心地よさを知らせていきましょう。

### 4 歳児 くま組

今日から3学期が始まります。今月は、コアやカルタ、羽根つきなど、正月遊びに興味をもち、友達と一緒にする面白さを感じながら、繰り返し楽しむようにしていきます。また、園庭でも鬼遊びや縄跳び等でたくさん体を動かしていきます。2学期には友達と一緒に遊ぶ中で、友達とつながった嬉しさを感じてきました。今月も、友達に思いを伝えたり、友達の話の聞いたりして遊ぶことの楽しさを感じられるようにしていきます。

#### <今月のねらい>

○保育者や友達との再会を喜び、正月遊びや自分のやりたい遊びを保育者や友達と一緒に楽しむ。

○寒い中でも戸外で運動遊びを楽しみ、体を動かす心地よさを感じる。

○自分の思いを出し、友達や保育者に受け止めてもらう嬉しさを感じる。

○生活に必要なことを友達と一緒にしようとする。

#### <家庭との連携>

風邪やインフルエンザが流行する時期です。また、コロナによる感染症拡大防止のため、手洗いを丁寧に行えるように園でも伝えていきます。水の冷たさもあり、手洗いが丁寧に行えない姿があります。ご家庭でも保護者の方と一緒に、冬を元気に過ごしましょう。

## 5歳児 そろ組

冬季休業中はどのように過ごされましたか。今日から3学期が始まり、修了に向けてそろ組で過ごすのもあと49日間となりました。修了まで、1日1日を大切にしつつ、遊びや生活等、様々な活動を通して、子どもたちが「小学校に行っても大丈夫！」と自信をつけられるようにしていきたいと思えます。

今月は、コマ回しやすごろく・カルタなどの正月遊びを楽しみむ中で、繰り返し挑戦する経験をしたりと、友達と刺激を受け合いつつ同じめあてに向かって自己を発揮しながら遊ぶことを経験したりできるようにしていきます。

<今月のねらい>

○自分のめあてに向かって繰り返し挑戦し、満足感を味わう。

○互いの考えを認め合いながら、自己を発揮し、友達と一緒に遊ぶことを楽しむ。

○冬の自然に興味や関心をもち、発見を楽しみ、遊びに取り入れたり調べたりする。

<家庭との連携>

2学期末より、感染症が流行しています。園でも手洗い・空気の入れ替えを慣行しますが、ご家庭でも、丁寧な手洗いができているか見たり、しっかりと食事・睡眠をとれるようにしたりなど、ご配慮をお願いいたします。

## ほしグループ 長時間保育

夕方になると急に冷え込んでしまいますが、どの学年の幼児も園庭で遊ぶことを楽しむ姿が見られました。気温や体調を見ながら早めに保育室に入るようにしています。

うさぎ組は、異年齢の幼児と一緒に鬼ごっこや大縄をしました。年長・年中児は“うさぎ組さんだから”と、鬼ごっこの中でタッチしないように追いかけたり、大縄のハビを跳ぶ姿を温かく見守ってくれたりしていました。<ま組は、縄跳びを楽しむ幼児が増えてきました。「〇回も跳べた!」「私は走りながら跳んでみるね!」とそれぞれの楽しみ方で友達と一緒に遊んでいました。そろ組は、全員保育でしているドッジボールを楽しんでいます。幼児同士で誘い合って集まり、「外野やるよ!」と話合っで決めたり、内野の希望者が多い時には「じゃあ外野やってあげる!」と譲ったりしながら子どもたちで遊びを進めています。

また、室内ではクリスマス製作をしました。サンタさんをつくったり、折り紙でフーツやペルを折ったりしました。1月はカルタやすごろくなどの正月遊びを楽しみながらゆったりと過ごしていきます。